

中洲ふれあい通信

企画・発行
中洲学区21活動協議会
広報委員会



第54号
令和7年1月

新たな中洲学区を めざして

中洲学区21活動協議会

会長 山本 繁二

新年あけましてお
めでとうございます。

学区民の皆さまに

は、輝かしい新春をご家族お揃いでお迎え
のこととお慶び申し上げます。

中洲学区では、多くの住宅が新築され世
帯数は年々増え、子どもの増加とともに町
の賑わいも増えています。朝夕の登下校時
には賑やかな子どもたちの声が聞こえ、皆
に元気を与えてくれています。しかしなが
ら、最近の新聞報道では、将来少子高齢化
が進み、単身世帯も増加することであ
り、「若い人たちは、成人になっても中洲
学区に住み続けてくれるのだろうか。」な
どと考えさせられます。

この様な現状を踏まえ、中洲の良さを
知っている私たちが、「中洲は一つ」の思
いをもとに、のどかな農村風景をはじめ、
風光明媚な琵琶湖や野洲川の景観、由緒あ
る神社仏閣に残る伝統文化等、有形・無形
の財産を再発見していくことが大切です。
これらを活用した町づくりを進め、ゆった
りとした住環境を育む事が、若い人たちに
中洲に住み続けてもらえるよりどころとな
ります。このことは少子高齢化や世帯維持
に対応した町づくりに繋がり、更なる中洲
学区の発展にも結びつけられるものと考え
ております。

終わりに、学区民皆さまのご多幸をご祈
念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

中洲学区民のつどい

凧作り&凧あげ大会



環境学習ワークショップ



ふれあい広場



スカットボール

カラーリング



体力測定



福祉の心を
育てるつどい



みんなで歌おうin中洲



人権標語表彰



大玉転がし



モルック

ミニ運動会

展示コーナー



キッチンカー



お楽しみ抽選会



パトカー、消防車撮影会



人口世帯一覧表

令和6年12月31日現在

	世帯数	男性	女性	計	前年同月比
守山市	35,421	42,250	43,631	85,881	15
新庄	78	86	101	187	-5
服部	192	239	275	514	24
立田	354	426	478	904	-6
幸津川	269	381	371	752	-3
小浜	137	186	191	377	-11
中洲学区	1,030	1,318	1,416	2,734	-1

多様性 認めて育てる 町づくり

令和6年度 中洲学区人権啓発標語（最優秀賞）

11月10日（日）、「2024中洲学区民のつどい」を中洲小学校体育館、グラウンド、野洲川中洲親水公園（あめんぼう）で開催しました。当日の天気は降雨の予報でしたが、小春日和の暖かさに恵まれ、約七百人の方々に参加頂き大盛況の内に終了いたしました。中洲学区民のつどいは、中洲学区の皆さまが交流し、親睦を深め、活力ある明るい地域づくりを目的に今年度より新たに開催したものです。小学校体育館では「みんなで歌おうin中洲」をはじめ、「ふれあい広場」「福祉の心を育てるつどい」「環境学習ワークショップ」「体力測定」「展示作品コーナー」「ギネスに挑戦5周年記念パネル展」「人権啓発標語表彰式」「お楽しみ抽選会」を開催。グラウンド・公園では、「ミニ運動会」「パトカー、消防車撮影会」「キッチンカーコーナー」「凧作り&凧あげ大会」に多くの方の参加をいただきました。前々日からの準備、当日の運営、片付けまで、ご協力頂きました全ての皆さまに感謝申し上げます。

新庄町

健康福祉部会の活動について

新庄自治会では、今年度自治会組織内に新たに「健康福祉部会」を設置しました。自治会役員や民生委員・児童委員、福祉協力員、地元の福祉ボランティア団体などが連携して、地域の見守り活動や居場所づくり活動、災害時の避難支援などを考えていこうとするものです。

初年度の活動としては、市社協事務局次長を招いての懇談会や、見守り体制の検討会を開催し、自治会広報誌に部会紹介記事の連載を始めました。今後、全町民を対象とした福祉講演会なども予定しています。少子高齢化が顕著に進む新庄自治会としては、地域福祉に関する諸問題を福祉関係者だけに任せておらず、自治会が積極的に関わり連携しながら課題解決に取り組んでいければと考えています。



福祉マップ作成と見守り体制の検討



市社協事務局次長を招いての懇談会

わが町紹介

小浜町

防災訓練と防犯フェスティバル

10月6日(日)午前8時、「訓練、訓練、ただいま震度7の地震が発生しました。町民の皆さんは、安全を確保し、避難を開始して下さい。」恒例の防災訓練が始まりました。総合避難所に移動し、自警隊による消火栓操作披露、消火器の体験訓練、煙中体験と進みますが、今年はまだまだ続きます。滋賀県警音楽隊と守山警察署の協力を得て、防犯フェスティバルを開催しました。交通事故防止、特殊詐欺防止などのパネル展示、県警マスコットの「けいたくん」の出演。総勢20名程の音楽隊によるアニメソング、歌謡曲、特殊詐欺防止ソング、寸劇などに笑顔のたえない楽しいひとときでした。これらのことが、防災・防犯についての意識づけとなればと思います。



「ふれあいまちづくり先進地研修」

10月4日(金)、自治会長・まちづくり推進員・学区社協各部会員が彦根地方気象台とHATOスタジオを訪問しました。彦根地方気象台では、主に野洲川下流に位置する中洲学区の防災に関する講習を受けました。大切な命や財産を守るために、いざという時に早めの行動の大切さを学びました。

HATOスタジオは、五階建て、収容人数一万五千人の県内唯一の第一種陸上競技場です。コントリールームをはじめ、最新の設備を備えた施設を見学し、9月28日(日)から始まる「国スポ障スポ2025」の開催が待ち遠しくなりました。



「なかすふれあいウォーキング」

10月26日(土)、近江八幡市の八幡堀周辺にて「なかすふれあいウォーキング」を開催しました。ラコリーナ近江八幡から出発し、八幡堀の美しい水路沿いの石畳や、近江商人発祥の地として栄えた風情ある街並みを歩きました。八幡山ロープウェイに乗り、山頂から見える琵琶湖や旧城下町が織りなす雄大な景色を眺めたりしながら、26人の参加者が約4kmのウォーキングを楽しみました。

この日は武将や町衆の衣装姿も見られました



中洲ふれあいの灯&中洲夢花火

中洲の夜空に二つの光

12月15日(日)、第35回中洲ふれあいの灯の点灯式を開催しました。未来を担う中洲小の六年生と市長、学区長がカウントダウンのかけ声の中、点灯スイッチを押すと、メッセコイアにかりが灯り一斉に歓声が上がりました。

また、中洲学区の住民の思いが未来につながるように、ふれあいの灯の点灯に続き、中洲夢花火が冬の夜空を照らししました。



各種団体紹介『民生委員・児童委員』

中洲学区では、各地区担当の民生委員・児童委員七名と主任児童委員二名の計九名で活動しています。赤ちゃん訪問や高齢者世帯等の友愛訪問など、地域の皆さまが安全で安心して暮らせるように『おたっしやですか通信』を毎月作成、配付して、見守り活動に力を入れています。訪問活動を通して、子育てや介護、日ごろの生活の悩み、困り事を伺い、市や関係機関に連絡調整して、解決へのお手伝いをしています。どうぞお気軽にお声掛けください。

また、学区民のつどいや小学校で紙芝居(しあわせがし)の読み聞かせを行うなど、福祉の心を育てる活動にも取り組んでいます。



学区民のつどいで「だるまおとし」を担当

中洲のえがお

中洲なかよしほっとステーションや中洲学区子育てサロン「ひまわり」に来られたお子さんの写真です

(写真は撮影時の月齢です)



ひなたちゃん
(1歳6か月)



はるちゃん
(8か月)



あきくん
(4か月)



ひなりちゃん
(8か月)

編集後記

本年度の最終号(54号)を無事発行することができ、委員一同安堵しております。

編集作業など、まったく不慣れな私たちが、何とかやり遂げることができましたのは、事務局をはじめ、皆さまのご協力のおかげです。特に、原稿依頼にご快諾いただき寄稿くださった皆さまには、改めて厚くお礼申し上げます。

本年度は「学区民のつどい」など新規事業もあり、紙面も賑やかになりました。これからも、本紙を通して中洲学区の躍動する姿を伝えていきたいと思っています。

(編集委員)

委員長 服部 正子(服部)
副委員長 森田 作弘(立田)

中村 宗三郎(新庄)
河瀬 真美(服部)
中島 史郎(幸津川)
佐藤 正人(小浜)
高谷 眞弓(立田)
猪飼 ひとみ(立田)